

暴風雪による被害を防ぐために

冬は暴風雪による停電や遭難といった災害が多く発生しています。テレビやラジオなどで悪天候が予想されることを知ったときは、今の天気良くても油断することなく、最新の情報を十分確認して下さい。暴風雪が予想されるときは、無理をせずに外出を避けて下さい。

～やむを得ず車で外出するときは～

■運転中に視界が悪くなり身の危険を感じたら、無理をせずに道の駅やコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどで天気が回復するのを待ちましょう。

■天気が急変し車が立ち往生する可能性もあるので、防寒着、長靴、手袋、スコップ、牽引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認しておきましょう。

また、万が一に備えて、飲料水や非常食も用意しておくとお安心です。



～もしも吹雪で動けなくなったときは～

■避難できる場所や近くに民家などがなく救助が必要な場合は、消防(119番)や警察(110番)に連絡して、エンジンを切りハザードランプを点滅して車の中で救助に備えてください。

また、GPS機能付きの携帯電話を持っている場合は、GPS機能を「有効」に設定しておくことで、消防が通報者の位置をできるだけ正確に把握することができます。



■車が雪に埋まったときはエンジンを切りましょう。

マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。

防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは、窓を開けて換気しこまめにマフラーまわりを除雪して下さい。

石狩北部地区消防事務組合
消防本部警防課 消防担当
TEL : 0133-74-7024